



## 2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月14日

上場会社名 株式会社アクシージア 上場取引所 東  
コード番号 4936 URL <https://axxia.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 段 卓  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 福井 康人 TEL 03 (6911) 3899  
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第3四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	9,113	15.5	953	△28.8	1,155	△10.5	811	△3.7
2023年7月期第3四半期	7,892	40.2	1,340	22.2	1,290	9.6	842	12.6

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 936百万円 (15.4%) 2023年7月期第3四半期 811百万円 (△2.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	32.59	32.53
2023年7月期第3四半期	32.60	32.46

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	11,094	8,607	77.5
2023年7月期	10,701	8,901	83.2

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 8,602百万円 2023年7月期 8,901百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年7月期	—	10.00	—	—	—
2024年7月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	7.6	830	△56.3	1,040	△45.3	700	△47.4	28.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	25,167,000株	2023年7月期	25,896,000株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	750,000株	2023年7月期	750,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	24,896,876株	2023年7月期3Q	25,833,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年8月1日～2024年4月30日）におけるわが国の経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境改善の動き、インバウンド消費の増加を背景に、緩やかな回復傾向がみられました。一方で、中東地域をめぐる情勢や為替動向、物価上昇の影響等もあり、依然として不確実性を伴う状況が続いております。

国内化粧品市場においては、緩やかな景気回復を背景に消費は回復傾向にあり、円安効果によるインバウンド需要の回復もみられました。

中国市場においては、ALPS処理水の海洋放出による日本製品回避の動きは収束しつつあるものの、景気回復の動きに足踏みがみられ、依然として厳しい市場環境が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、中国本土での広告投資を強化し販売力の強化を図るとともに、中国以外の地域への展開強化のための取り組みを進めてまいりました。中国においては、ブランドアンバサダーの起用や、主力製品である「AGドリンクX」の発売一周年を記念したDouyinにおけるライブ販売実施等、中国における更なる認知度及び売上向上に取り組んでまいりました。日本国内においては、インバウンド需要の回復を見据え、全国主要都市（渋谷、梅田、札幌、新宿）にポップアップ店舗を出店、また、京王百貨店 新宿店に直営店舗を新設いたしました。また、渋谷駅における「AGドリンクX」の大型ビジョン広告の放映等、日本における知名度向上にも取り組んでまいりました。その他の地域につきましては、ドバイと香港における展示会出展や、シンガポールに向けたライブ販売やイベントの実施等、グローバルな事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果より、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、処理水放出に伴う中国市場における日本化粧品回避の動き等の影響から徐々に回復の動きがみられ、インナーケア製品であるAGドリンクのライブ販売イベント等、各種施策が奏功したことにより、9,113,821千円（前年同四半期比15.5%増）となりました。一方で、各種施策で起用したKOLに支払う広告宣伝費及び支払手数料が増加したことにより、営業利益は953,986千円（前年同四半期比28.8%減）、経常利益は1,155,443千円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

以上の結果により、親会社株主に帰属する四半期純利益は811,376千円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

なお、当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

## [業績の概要]

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減率
売上高	7,892	9,113	+15.5
営業利益	1,340	953	△28.8
経常利益	1,290	1,155	△10.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	842	811	△3.7

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて393,326千円増加し、11,094,689千円（前連結会計年度末比3.7%増）となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて16,034千円減少し、9,134,947千円（前連結会計年度末比0.2%減）となりました。主な要因は、現金及び預金の1,769,472千円減少、売掛金の754,814千円増加、商品及び製品の296,014千円増加、その他の781,541千円増加等によるものであります。また、固定資産は、前連結会計年度末に比べて409,361千円増加し、1,959,741千円（前連結会計年度末比26.4%増）となりました。要因は、有形固定資産が269,146千円増加及び無形固定資産が82,723千円増加し、投資その他の資産が57,490千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて687,361千円増加し、2,487,124千円（前連結会計年度末比38.2%増）となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて835,358千円増加し、2,198,604千円（前連結会計年度末比61.3%増）となりました。主な要因は、短期借入金が530,000千円増加、未払金が425,621千円増加したこと等によるものであります。また、固定負債は、前連結会計年度末

に比べて147,996千円減少し、288,520千円（前連結会計年度末比33.9%減）となりました。主な要因は、長期借入金が86,355千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて294,034千円減少し、8,607,564千円（前連結会計年度末比3.3%減）となりました。主な要因は、配当金の支払い599,817千円等により利益剰余金が減少したこと等によるものです。

なお、自己資本比率は77.5%（前連結会計年度末は83.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、当社グループの主要市場である中国市場の市況動向や当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年6月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,787,967	4,018,494
売掛金	1,081,314	1,836,128
商品及び製品	1,616,600	1,912,614
仕掛品	11,464	9,109
原材料及び貯蔵品	268,682	192,791
その他	386,336	1,167,878
貸倒引当金	△1,383	△2,069
流動資産合計	9,150,982	9,134,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	166,047	700,034
土地	393,578	385,132
その他(純額)	491,184	234,789
有形固定資産合計	1,050,810	1,319,957
無形固定資産		
のれん	56,011	140,288
その他	133,911	132,358
無形固定資産合計	189,922	272,646
投資その他の資産		
繰延税金資産	145,670	128,418
その他	163,976	238,719
投資その他の資産合計	309,647	367,137
固定資産合計	1,550,380	1,959,741
資産合計	10,701,362	11,094,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	219,764	185,011
短期借入金	—	530,000
1年内返済予定の長期借入金	239,080	265,816
未払金	441,579	867,200
未払法人税等	237,875	65,050
賞与引当金	34,945	71,208
株主優待引当金	634	—
その他	189,366	214,316
流動負債合計	1,363,246	2,198,604
固定負債		
長期借入金	331,010	244,655
繰延税金負債	1,954	1,864
株式報酬引当金	68,967	—
その他	34,585	42,000
固定負債合計	436,517	288,520
負債合計	1,799,763	2,487,124
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,147,315	2,155,505
資本剰余金	2,049,315	2,057,304
利益剰余金	5,473,634	4,794,116
自己株式	△891,265	△655,867
株主資本合計	8,778,998	8,351,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	624
為替換算調整勘定	122,600	250,483
その他の包括利益累計額合計	122,600	251,107
非支配株主持分	—	5,397
純資産合計	8,901,599	8,607,564
負債純資産合計	10,701,362	11,094,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	7,892,291	9,113,821
売上原価	1,761,976	1,734,242
売上総利益	6,130,315	7,379,578
販売費及び一般管理費	4,789,557	6,425,592
営業利益	1,340,757	953,986
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,228	39,661
為替差益	—	145,530
補助金収入	17,465	24,477
その他	3,193	2,668
営業外収益合計	23,887	212,336
営業外費用		
支払利息	4,809	4,384
持分法による投資損失	—	1,076
自己株式取得費用	699	4,431
為替差損	48,771	—
株式交付費	18,946	—
その他	1,028	986
営業外費用合計	74,256	10,879
経常利益	1,290,389	1,155,443
特別利益		
固定資産売却益	—	14,280
特別利益合計	—	14,280
税金等調整前四半期純利益	1,290,389	1,169,723
法人税、住民税及び事業税	487,346	346,470
法人税等調整額	△39,109	15,679
法人税等合計	448,236	362,149
四半期純利益	842,152	807,573
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,803
親会社株主に帰属する四半期純利益	842,152	811,376

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	842,152	807,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	624
為替換算調整勘定	△31,081	127,882
その他の包括利益合計	△31,081	128,506
四半期包括利益	811,070	936,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	811,070	939,883
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,803

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年12月15日開催の取締役会決議に基づき、2023年12月25日付で自己株式750,000株の消却を実施し、また、2023年12月18日から2024年3月6日までの期間において自己株式750,000株を取得いたしました。この消却及び取得により、利益剰余金が891,265千円、自己株式が235,398千円それぞれ減少しております。

これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が4,794,116千円、自己株式655,867千円がとなっております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「自己株式取得費用」は、営業外費用の100分の20を超えたため、第2四半期連結累計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた1,728千円は、「自己株式取得費用」699千円、「その他」1,028千円として組み替えております。

(追加情報)

(事後交付型業績連動型株式報酬制度)

2022年10月24日開催の定時株主総会の決議に基づいて、2022年8月から2024年7月まで評価期間とし、当社の取締役（社外取締役を除く）及び従業員を対象に、予め定めた業績目標の達成度に応じた数の当社の普通株式を交付するための金銭報酬債権を業績評価分の報酬として交付する事後交付型業績連動型株式報酬制度（パフォーマンス・シェア・ユニット制度）を採用しております。

これは、中長期的な企業価値向上に向けた取組みを強化し、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的としたものです。

対象取締役及び従業員は、一定期間継続して当社の取締役及び従業員を務めることを条件として、評価期間における業績等の数値目標の達成率等に応じて、当社普通株式を交付するための金銭報酬債権を支給され、当該金銭報酬債権の全部を現物出資の方法で払い込むことにより、当社普通株式の交付を受けることになります。最終交付株式数は当該業績評価期間における業績等の数値目標の達成率等に応じて0～200%の範囲で算定される業績目標達成度等を乗じて算定されます。

当第3四半期連結累計期間においては、評価期間における業績等の達成率等の見直しにより株式報酬費用として△68,967千円を計上しております。

なお、その条件の達成可能性には不確実性が伴うため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定には含まれておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （企業結合等関係）

## （取得による企業結合）

## （1）企業結合の概要

## ①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社エムアンドディ

事業の内容：化粧品の小売販売、卸売販売等

## ②企業結合を行った理由

本企業結合により、日本国内EC販売の基盤を獲得することとなるため、当社グループにおける日本国内の連結売上高拡大を狙うことに加え、中国割合が約9割を占める事業ポートフォリオを目指す方向（事業リスク低減、売上ポートフォリオの改善）へ近づけることが可能となるためであります。

## ③企業結合日

2024年2月1日

## ④企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤結合後の企業の名称

変更ありません。

## ⑥取得した議決権比率

100%

## ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

## （2）四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年2月1日から2024年2月29日まで

## （3）被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	10,000千円
取得原価		10,000千円

## （4）発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ①発生したのれん金額

93,244千円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。

## ②発生原因

主として、今後の事業展開によって期待される超過収益力から発生したものであります。

## ③償却方法及び償却期間

将来の超過収益力の発現する期間において均等償却を行う予定であります。なお、償却期間については、当第3四半期連結会計期間末時点において算定中であります。

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。